

心のこもった暖かい看護を

Heartful care.
Warmful mind.



交通アクセス

阪急 大阪梅田	阪急宝塚線急行 宝塚方面行	約13分	阪急・大阪モノレール 蛍池
阪急 宝塚	阪急宝塚線急行 梅田方面行	約19分	
大阪モノレール 大阪空港	大阪モノレール本線 門真市方面行	約3分	
大阪モノレール 千里中央	大阪モノレール本線 大阪空港方面行	約10分	

● 阪急・大阪モノレール「蛍池」駅より 徒歩 5 分



独立行政法人 国立病院機構 大阪刀根山医療センター

〒560-8552 大阪府豊中市刀根山5丁目1番1号
TEL:06-6853-2001(代表)

<https://toneyama.hosp.go.jp>

大阪刀根山医療センター

検索



看護職員募集案内



輝け、私。

独立行政法人国立病院機構
大阪刀根山医療センター

Osaka Toneyama Medical Center



Heartful care,
warmfull mind.

心のこもった温かい看護を

看護の魅力

当院の看護部は、看護部理念のもと、安全で質の高い看護の提供を目指し、『心のこもった温かい看護を』をモットーに、患者さんの立場に立って考え、患者さん・ご家族のニーズに対応することを実践しています。

患者さんの多くは、呼吸困難・摂食嚥下障害・運動障害などを抱えておられ、看護の力を最大限に発揮することができます。

「生きる」を支える 看護の専門性



チームで支える

「患者さんがどう生きていきたいか」を共に考えます



基本理念

生命を大切に、人権を尊重し、社会から信頼される最良、最適の医療をめざします。

看護部理念

私たちは、患者さんの声に耳を傾け、ここをこめて看護を提供します。患者さんの人権を大切にします。

運営方針

- 病む人の立場を尊重した安全で安心できる医療の提供
- 快適な医療環境の提供と健全な病院運営
- 呼吸器疾患、神経・筋疾患及び骨・運動器疾患を中心とした専門医療の推進
- 社会状況に対応した医療連携の強化
- 臨床研究、職員研修の充実

病 床 数	410床
診 療 科	21診療科
主な診療科	脳神経内科、呼吸器内科、呼吸器腫瘍内科、呼吸器緩和ケア内科、呼吸器外科、整形外科
看護職員配置	一般10：1、障害者7：1
看護方式	固定チームナーシング
勤務体制	二交替制

看護部からの Message

私たちは看護部理念を心に刻み、患者さんの「生きる」を支える看護を実践しています。患者さんの声には、言葉にできない身体の声も含まれます。発熱、呼吸が普段と違う、なんだか皮膚が湿潤している、視線が合わない等、数多くのサインを感じ、考え、看護しています。そのためには、専門的知識・技術に裏付けされた関心を持つことが大切です。フローレンス・ナイチンゲールの三重の関心です。共に看護を語り、やりがいと誇りを持ち、患者さんにここをこめた看護を共に実践していきましょう。



安心を支える

各分野の教育・調査・環境調整を行います



生活・療養を支える

看護外来では退院後も患者さんの社会生活を支援します



ケアを支える

患者さんに応じた技術の提供と教育を行います

その人らしさを支える

患者さんの持てる力と主体性を大事にします



意思決定を支える

苦しみや気がかりを和らげその人らしい人生を支えます

専門・認定看護師

- 慢性疾患看護専門看護師
- 感染管理認定看護師

- 皮膚・排泄ケア特定認定看護師
- 緩和ケア特定認定看護師
- 緩和ケア認定看護師

- がん性疼痛看護認定看護師
- がん化学療法看護認定看護師
- 慢性呼吸器疾患看護認定看護師
- 摂食嚥下障害看護認定看護師

一人ひとりの成長に合わせた指導を。

患者さんに寄り添える 看護師に

一人ひとりの人生に関わらせていただく中で、苦しみや気がかりがひと時でも早く和らぐようお手伝いをしています。そして、患者さん・ご家族と関係性を築きながら、その人らしさを大切に、看護を提供していきます。

8:30 全体ミーティング



9:15

チームミーティング

11:00

化学療法の援助
検査介助



14:00 検温



15:30

退院時カンファレンス出席
退院指導

16:00

記録・
担当患者への挨拶

活動
START

9:00

10:00

11:00

12:00

13:00

14:00

15:00

16:00

17:00

8:50

ウォーキング
カンファレンス



10:00

検温



お昼休み 12:30



13:30

ベッドサイド
カンファレンス

14:30

清拭・呼吸法の指導



17:15

終業

研修スタート



1年間の研修スケジュール

夜勤スタート

4

新採用者
研修

5

医療安全

6

フィジカル
アセスメント

7

コミュニ
ケーション
スキル

8

[新採用者研修:BLS]

9

看護
必要度

10

医療安全
Team
STEPS

11

リフレッシュ
研修

12

看取りの看護
エンゼルケア

1

[図書室で学習]

2

1年間の
まとめ

3

[新採用者研修:
採血]

Q 勤務体制は?

夜勤・日勤の
2交代制です。

夜勤

17:30 9:00

※ 16:30～9:00もあります

日勤

8:30 17:15

※ 10時間日勤もあります

[新採用者研修:
感染技術]



[フィジカルアセスメント]



[リフレッシュ研修]



看護実践のなかで 学び合う

教育担当看護師長と病棟が連携をとりながら、「一人ひとり」の成長に合わせた支援を行なっています。

様々な場面で、病棟のプリセプターと悩みを分かち合い共に成長します。

専門認定看護師、専門的分野においてリーダーシップをとる「Uナース」の支援を受け、学びを深めていきます。



先輩からのMessage



看護部 2013年入職

当院で実習した時に、実習指導者から看護の楽しさを教えてもらい、一緒に働きたいと思い就職しました。当院は新人教育に力を入れており、様々な看護技術や状況設定された場面でのシミュレーション研修を実施しています。また、分からない事・不安な事は先輩が優しく熱心に指導しています。就活では自分に合う病院が分からない…と感じる方が多いと思いますが、当院はとても学びのある働きやすい環境です。交通の便も良く、梅田まで15分程で行ける所も魅力の一つです。ぜひ一緒に働きましょう！



看護部 2015年入職

呼吸器疾患、神経筋疾患に興味があり、また、実習の際に「こんな看護師になりたい！」と憧れた男性看護師がいたので当院への就職を決めました。看護の基礎をしっかり固める教育体制が整っており、キャリアアップ支援も充実しています。私自身、幹部看護師任用候補者や呼吸療法認定士の資格を取得でき、色んなことにチャレンジできる環境も整っています。ちなみに、憧れていた看護師と現在、同じ病棟で看護をすることができています。皆さんもぜひ、当院の素敵な看護師と一緒に成長していきましょう。



看護部 2005年入職

結婚を機に北海道医療センターから転勤してきました。出産後、育児休業を取得し、復帰後は院内保育や育児時間等の育児支援制度を利用して、子供との時間も作ることができ、仕事と育児を両立しながら働いています。当院は、様々なライフステージやワークライフバランスを大切にされた雰囲気、周囲のスタッフの理解もあり、結婚出産後も長く働くことができる環境が整っているので、たくさんのママナースが活躍しています。

1年目の先輩から



日々知らないこと分からないことに触れくじけそうになりますが、優しく教えてくださる先輩方と手厚い教育体制、何でも話せる同期、そして何より患者さんの笑顔や感謝の言葉に励まされ日々頑張れています。学生時代辛いこともあると思いますが、それを乗り越えた先には楽しいことがたくさん待っています。



4月は初めての環境と、覚える事・学ぶ事ばかりで焦ってばかりいました。入職から少し経った今でも、まだまだ学ぶことばかりですが環境にも慣れ、少しずつ自分のしたい看護が出来てきたと実感できています。また、たくさん先輩方に声掛けしていただき、もっともっと成長していきたいと思えます。



私の病棟は混合病棟で忙しいですが、心強い同期と優しすぎる先輩たちのおかげで休まず元気に勤務できています。看護師という職業は予想以上に大変で、責任感と多重業務に追われていますが、患者さんとともに病気の治療に向けての関わりや症状を軽減できるよう関わることに、とてもやりがいを感じています。



私は、実習で神経内科の患者を受け持つ中で、持てる力を最大限活かし、その人らしい生活を支え、入院から退院までを見据えた看護を行いたいと思い、就職希望しました。初めは慣れず、日々こなすことに精一杯でした。様々な経験を積んでくれた先輩方に指導を頂き、多種多様な視点を持ち関わることで看護観をさらに深めることができたように感じています。初心を忘れずに看護を行う上でさらに看護観を養いたいと思います。

看護の実践の場を知ろう

呼吸器外科・整形外科(A棟2階)

胸腔鏡下で気胸や悪性腫瘍の肺切除術、人工膝関節置換術、脊椎カリエスの手術療法を行っています。患者さんの不安が軽減できるよう看護を行っています。

脳神経内科(A棟3階)

筋萎縮性側索硬化症などの神経・筋疾患の患者さんが入院されています。文字盤などを使って患者さんのニードを汲み取り、住み慣れた自宅で過ごせるよう支援しています。

呼吸器内科(A棟4階)

呼吸不全の患者さんにHOTの導入指導や、生活の質を維持できるよう日常生活動作と一緒に考えています。急性期では高流量酸素投与システムによる呼吸管理も行っています。

脳神経内科(A棟5階)

主にパーキンソン病の患者さんが入院されており、リハビリや内服調整などを行っています。また、睡眠外来ではSASやCPAPの導入指導も行っています。

肺がんセンター(A棟6階)

肺がん診断のための気管支鏡検査や、化学療法・放射線療法を受ける患者さんが入院されています。緩和ケアチームとも連携し、診断から看取りまでの看護を行っています。

RICU

術後の患者さんや呼吸循環動態が不安定な患者さんに対し、集中治療・看護を提供しています。危機的状態にある患者・家族の精神的支援も努めています。

脳神経内科(B棟1階)

筋ジストロフィーの患者さんが入院されています。9割を占める人工呼吸器装着患者の看護や、様々な手段のコミュニケーションを通して、生活の質を高める看護を行っています。

脳神経内科(B棟2階)

筋ジストロフィーの患者さんが入院されており、人工呼吸器管理の他、ロボットHALによる歩行訓練も行っています。また、隣接する支援学校と連携を図っています。

手術室・中央材料室

呼吸器内科・整形外科の手術を行っています。認定IVナースも多数在籍し、専門性の高い技術で画像診断検査や気管支鏡検査も担当しています。

外 来

1日平均240名の患者さんが受診されます。分かりやすい説明を心がけるとともに、患者さんの生活の質を考え、吸入指導や看護外来による日常生活の支援も行っています。

入退院支援センター

入院が決まった患者さんにオリエンテーション・基本情報の収集・検査説明・入院への相談・指導を行います。また、地域包括ケアシステムの一員として入院と同時に退院支援を開始します。

各部門の紹介動画
詳しくはHPをご覧ください

